

人民元週間レポート

2025年11月14日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穗銀行

【人民元為替概況】

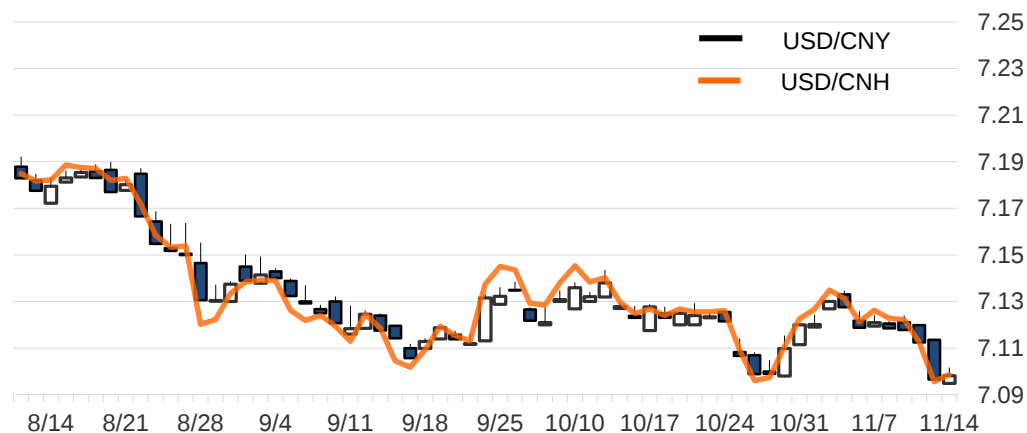
回顧：米政府機関閉鎖終了を受けUSDCNYは7.10を下抜け

- ドル人民元(USDCNY)は10日、7.12近辺でオープン。週末(9日)発表された中国10月物価統計が市場予想を上回る結果となったことを受け、一時上昇する場面が見られたものの、その後は7.12を挟んで小動き。12日は米金利低下を横目にドル売りが強まりUSDCNYは一時7.1100まで下落した。13日はPBOC仲値が前日対比元安水準に設定されたことを受け、やや元安水準でオープンしたものの、米下院が「つなぎ予算案」を可決したとの報道にドル売り優勢の展開となると、節目となる7.10を割り込み一時7.09台半ばまで下落した。14日9時時点では7.09台半ばで推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は10日、4.62台でオープン。米政府機関閉鎖終了期待からドル円が154円台を回復する中、JPYCNYは4.61台に下落。その後もドル円の騰勢が継続し、12日には154.50の抵抗線を上抜ける展開となると、JPYCNYは4.60を下抜けし2024年7月以来の水準まで下落した。13日は米政府閉鎖終了を背景にドル円が再び155円を目指す中、JPYCNYは一時4.58台まで続落した。14日9時時点では4.59台で推移している。

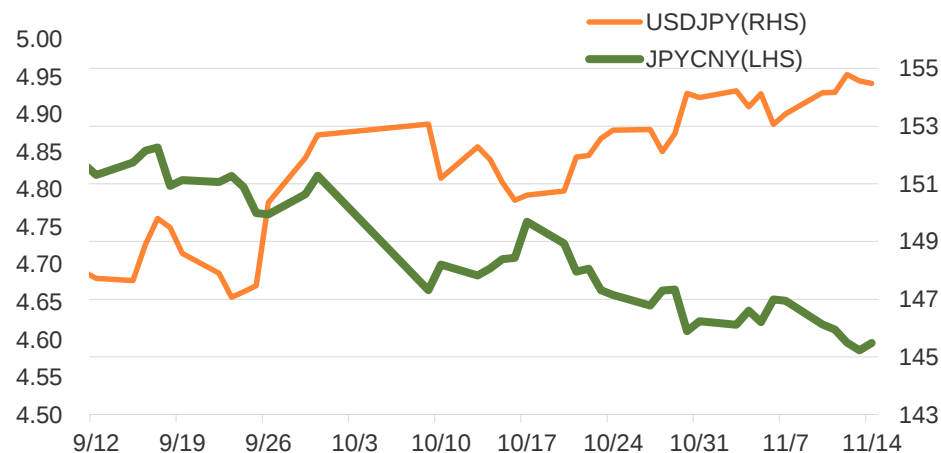
見通し：今後発表予定の米経済指標に注目

- 14日に発表された中国国内主要経済指標は軟調な結果が目立つ中、今後の財政政策・金融政策の動向には引き続き注目していきたい。一方、足元の人民元相場は節目となる7.10を今週下抜けて元買い圧力が強まる中、ドル安人民元高の流れが継続することが想定される。
- 米国では、米政府再開に向けた「つなぎ予算案」が成立し、史上最長となっていた米政府機関閉鎖が終了。マーケットでは米政府閉鎖期間中の経済影響を懸念する声が見られ、リスクオン地合からの巻き戻しの動きには留意したい。一方、最新の米経済データを確認できない中、FRB高官からは相次いで12月利下げに慎重なコメントが出ており、市場の織り込みは5割程度まで後退している状況。依然としてコンセンサスは固まっていない状況と思われ、今後発表予定の米経済指標の結果には注目していきたい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



【人民元金利概況】

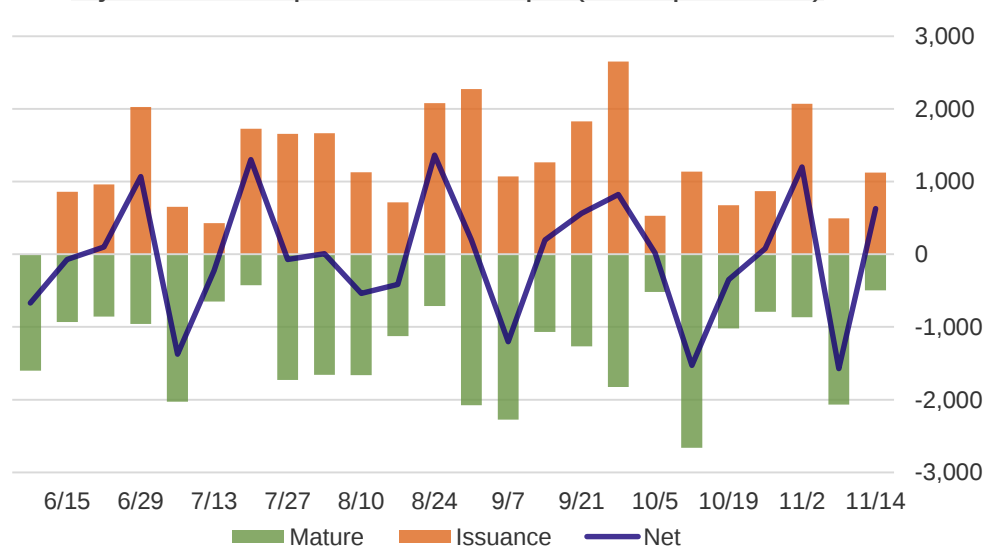
回顧: 債券市場は動意に乏しい展開

- PBOCは7日物リバースレポにより合計1兆1,220億元の資金供給を実施。満期到来分とネットでは6,262億元の資金供給となった。
- 短期資金市場は、大手行らによる資金放出フローが低調となったことを受け、週前半はややタイトな地合いとなるも、週後半にかけては再び放出フローが確認され、流動性は改善。
- 債券市場は11月に入り債券利回りの低下が一服する中（PBOCによる債券売買オペ再開報道後、大幅に利回り低下）、今週は総じて小動き。2年債利回りは1.4%台前半、5年債利回りは1.5%台半ば、10年債利回りは1.8%近辺と、前週比ほぼ横ばいの水準で推移している。

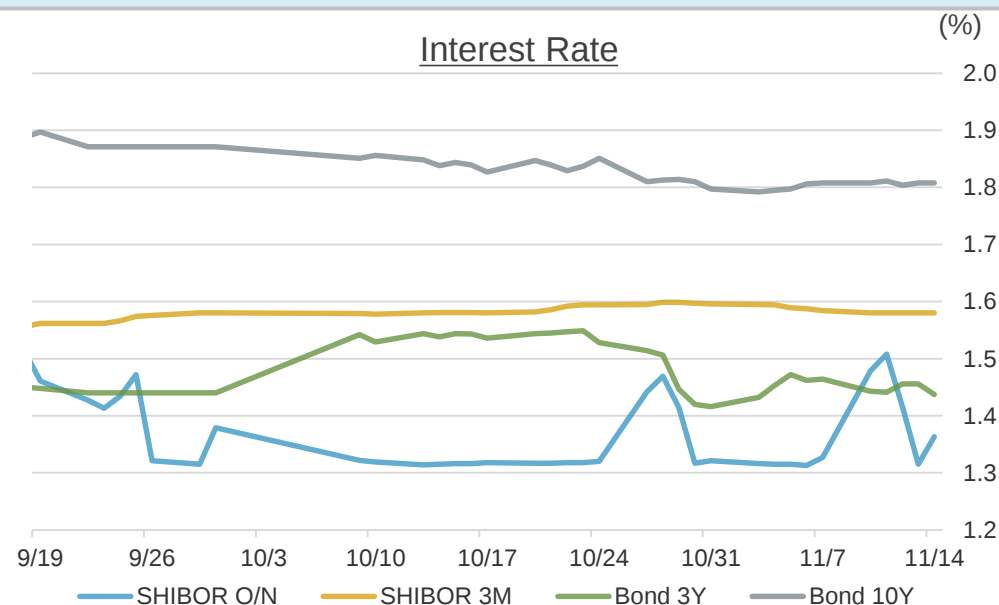
見通し: 株式市場の動向次第では債券利回り上昇に留意

- 短期資金市場は来週に税期を控えており、一時的に流動性がややタイト化する可能性も。
- 債券市場については、引き続きPBOCによる債券売買オペレーションの動向には留意が必要であるものの、株式市場が高止まる中で一段上値を目指す流れとなれば、債券利回りが上昇する可能性もある。
- 今週14日に発表された国内主要経済指標は、小売売上高（前年比）こそ小幅に市場予想を上回ったものの、鉱工業生産（前年比）および固定資産投資（前年比）はともに軟調な結果となり、総じて弱い印象。産業発展や内需拡大を重視する基本方針が示されている中、今後の財政・金融政策の動向には引き続き注目していきたい。また来週は20日に1年物・5年物のLPRが発表される予定となっており、それぞれ3.0%・3.5%で据え置きが予想される。

Injection of Repo/Reverse Repo (Total per week) (RMB Bio)



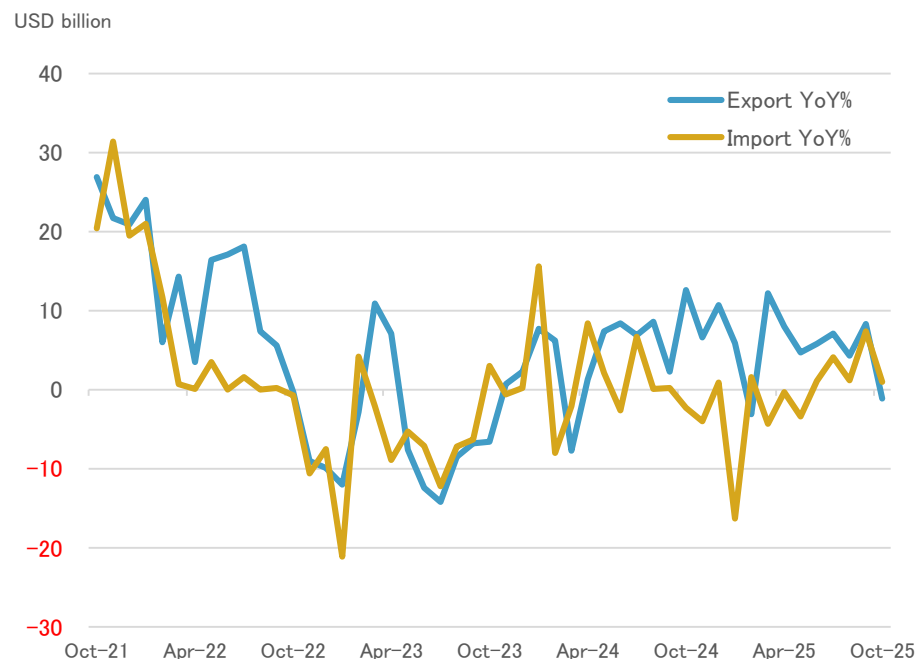
Interest Rate (%)



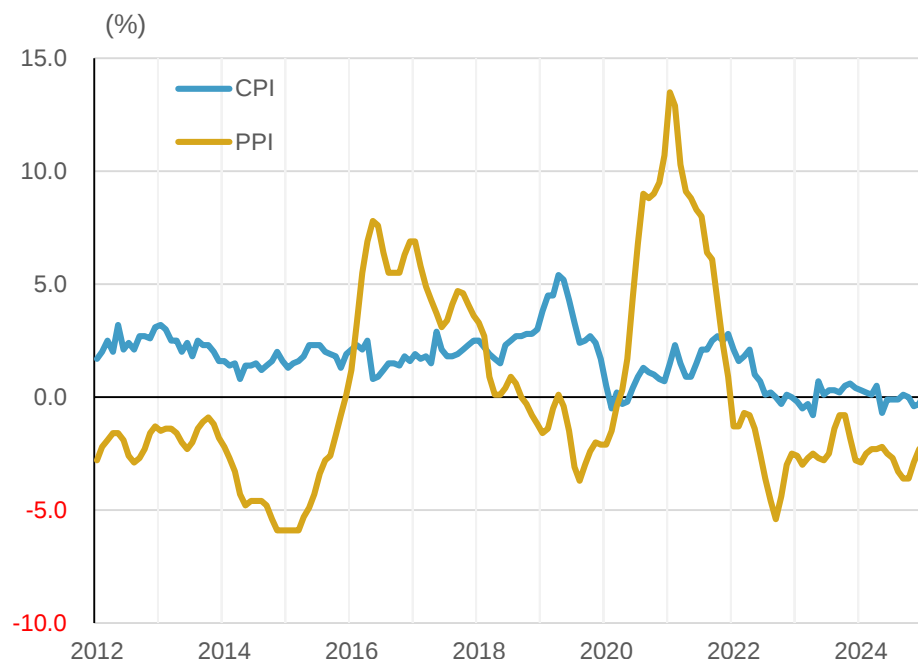
【TOPICS】 中国貿易統計・物価統計が公表

- 7日、中国税関総署は10月貿易統計を公表し、輸出(ドルベース)は前年同月比▲1.1%(予想:+2.9%、前回:+8.3%)の3,053.5億ドル、輸入は同+1.0%(予想:+2.7%、前回:+7.4%)の2,152.8億ドルとなった。輸出は8か月振りにマイナスとなり、輸入はプラス圏を維持したものの、5か月ぶりの低水準に留まった。また貿易収支は900.7億ドルの黒字(前回:904.5億ドルの黒字)となった。
- 地域別で見ると、対米輸出は前年比▲25.2%と引き続き下落率が大きく、その他の地域を見ていくとASEAN向けは同+11.0%、EU向けは同+0.9%、日本向けは同▲5.7%となっており、全体的に低調な結果に米国向けのマイナスを補いきれなくなった格好。米中の貿易対立は一時休戦状態にはなったものの、やはり対米輸出減速の影響は大きく、今後もマイナス圏での推移が継続するかどうか注目していきたい。
- 9日、国家統計局は10月CPIおよびPPIを公表した。CPIは前年比+0.2%(予想:▲0.1%、前回:▲0.3%)、PPIは同▲2.1%(予想:▲2.2%、前回:▲2.3%)となった。また、食品価格は同▲2.9%(前回:▲4.4%)、食品とエネルギーを除くコアインフレ率は同+1.2%(前回:+1.0%)となった。
- CPIは3か月ぶりに前年比プラスになったものの、引き続き物価基調は低調な状況にあることを示している。一方で、PPIやコアインフレ率に持ち直しの兆しが見られることから、過剰な価格競争が抑制された効果が表れている可能性があり、今後も動向には注目していきたい。

輸出入推移(前年同月比)



CPI/PPI推移(前年同月比)



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
11/10	7.1205	7.1214	7.1171	7.1175	7.0856
11/11	7.1211	7.1238	7.1165	7.1207	7.0866
11/12	7.1198	7.1202	7.1100	7.1172	7.0833
11/13	7.1135	7.1138	7.0939	7.0959	7.0865
11/14	7.0948	7.1014	7.0908	7.1007	7.0825

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
11/10	7.1252	7.1272	7.1186	7.1228	7.1221
11/11	7.1228	7.1266	7.1173	7.1222	7.1258
11/12	7.1222	7.1230	7.1108	7.1127	7.1219
11/13	7.1127	7.1151	7.0917	7.0956	7.1105
11/14	7.0955	7.1024	7.0907	7.0986	7.0955

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	11/10	LOW		HIGH	11/14
ON	1.4790	1.3150	～	1.5080	1.3630
1M	1.5250	1.5180	～	1.5250	1.5180
3M	1.5800	1.5800	～	1.5800	1.5800
6M	1.6185	1.6180	～	1.6200	1.6200
1Y	1.6500	1.6490	～	1.6500	1.6500

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.1205	7.1238	7.0908	7.1007
100JPY/CNY	4.6285	4.6290	4.5828	4.5955
EUR/CNY	8.2289	8.2662	8.2239	8.2558
HKD/CNY	0.91542	0.91638	0.91256	0.91350
GBP/CNY	9.3604	9.3810	9.3171	9.3582

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	153.36	155.04	153.36	154.56
EUR/USD	1.1566	1.1656	1.1541	1.1633
EUR/JPY	177.21	179.97	177.15	179.80
GBP/USD	1.3153	1.3216	1.3085	1.3192
AUD/USD	0.6483	0.6580	0.6483	0.6529

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行